

## 小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成28年12月20日(火)午後7時00分～午後7時17分  
場所 小田原市役所 6階 601会議室

### 2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 吉田 眞理  
2番委員 栢 沼 行 雄 (教育長)  
3番委員 萩 原 美由紀 (教育委員長職務代理者)  
4番委員 和 田 重 宏 (教育委員長)  
5番委員 森 本 浩 司

### 3 説明等のため出席した教育委員会職員等の氏名

- |           |         |
|-----------|---------|
| 教育部長      | 内 田 里 美 |
| 文化部長      | 関 野 憲 司 |
| 教育部副部長    | 隅 田 俊 幸 |
| 文化部副部長    | 安 藤 圭 太 |
| 教育総務課長    | 柏 木 敏 幸 |
| 教育指導課長    | 市 川 嘉 裕 |
| スポーツ課長    | 尾 沢 昌 裕 |
| 教育指導課副課長  | 瀬 戸 浩   |
| 教育指導課学事係長 | 田 村 直 美 |

#### (事務局)

- |           |       |
|-----------|-------|
| 教育総務課総務係長 | 高 瀬 聖 |
| 教育総務課主任   | 田 代 香 |

### 4 議事日程

- 日程第1 議案第29号 学校教育法施行細則の一部改正について (教育指導課)

### 5 報告事項

- (1) 第18回城下町おだわらツデーマーチ開催結果について (スポーツ課)

### 6 その他

- 市民ホール(旧芸術文化創造センター)の整備方針について (文化部)

## 7 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 11月定例会会議録の承認…吉田委員報告
- (3) 会議録署名委員の決定…萩原委員、森本委員に決定

- (4) 日程第1号 議案第29号 学校教育法施行細則の一部改正について

(教育指導課)

提案理由説明…教育長、教育指導課長

栢沼教育長…それでは、議案第29号の「学校教育法施行細則の一部改正について」をご説明申し上げます。

学校教育法施行細則につきましては、一部を改正するものでございます。細部につきましては、所管からご説明申し上げます。

教育指導課長…それでは、議案第29号「学校教育法施行細則の一部を改正する規則について」ご説明させていただきます。資料をご覧ください。

本規則につきましては、新たな宅地開発に伴い生じた地番である小田原市羽根尾428番地について「下中小学校」の通学区域に追加するとともに、「前羽小学校」の通学区域の表記を変更するため、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

(質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決

和田委員長…以上で、教育指導課が関連する議題が終了いたしましたので、関係の職員は、ご退席ください。

(教育指導課 退席)

(5) (1) 第18回城下町おだわらツデーマーチ開催結果について

(スポーツ課)

スポーツ課長…それでは、第18回城下町おだわらツデーマーチの開催結果について報告いたします。

資料1をご覧ください。

はじめに、1の開催日でございますが、第18回目となります今年度は、11月19日(土)、20日(日)に開催し、18日(金)には大会への参加申込者を対象としたプレウォークを実施いたしました。

次に、2の主会場でございますが、例年と変わりなく小田原城址公園の銅門広場などがございます。

次に、3のコースでございますが、18日のプレウォーク「せっかくコース」では、北原白秋ゆかりの地を回る10kmのコースを用意いたしました。

19日は、「相模湾を見下ろす国府津・曾我山コース」をはじめとする小田原の4コースと箱根コースの計5コースで、20日は、「二宮尊徳を訪ねる雄大な西部丘陵コース」をはじめとする小田原の4コースと「真鶴・湯河原コース」の計5コースで、それぞれ実施いたしました。

次に、4の参加者数(延べ人数)でございますが、今大会は、18日のせっかくコースを含め3日間で延べ8,655人の参加がありました。昨年の大会に比べ、134人少ない人数となっております。

19日(土)は、あいにくの雨となり、当日の参加申込者が前年度に比べ600人以上も少なかったものの、この日の参加合計は4,000人を超え、例年と大きく変わることなく、たくさんの方のご参加をいただきました。

なお、この日は、障がい者と関係者の方々のまとまってのご参加をいただき、車椅子でのご参加もいただきました。

ツデーマーチの開催にあたっては、大会のパンフレットや参加記念品のデザイン、あるいは大会当日の出店など、さまざまなかたちで障がい者や関係団体の方々にご協力をいただいておりますが、今年度の大会では、これまで以上に多くの障がい者や関係団体の方々に参加者としてウォーキングを楽しんでいただけました。

20日(日)は晴天に恵まれ、前日を超える人数の参加をいただき、スタート・フィニッシュ会場は、とても明るい雰囲気の中、賑わいを見せておりました。

次に、5の参加申込者数でございますが、9月1日から11月2日までの事前申込と、大会当日の申込とを合わせまして、5,965人の申込みがありました。

都道府県別の申込者を見ますと、北は北海道から南は鹿児島県まで、47都道府県のうち、40都道府県からの参加をいただく結果となりました。

北海道からの参加につきましては、今年度は北見市のウォーキング協会より43人のまとまったご参加をいただきましたことから、例年より非常に多くの人数となっております。

最後に、資料にはございませんが、大会当日の運営のお手伝いをいただきました「中学生ボランティア」につきましては、2日間合計で44人のご参加をいただき、主会場内において参加者の誘導やくじ引き抽選の補助などに、ご協力いただきました。

「中学生ボランティア」の募集に際しまして、各中学校長をはじめとする皆様に働きかけを行っていただいたことに、感謝申し上げます。

ツーデーマーチの開催に際しては、今後も、参加者やスタッフなどからいただいた意見を参考に、多くの方に喜んでいただけるよう努力してまいりたいと考えております。

以上で、第18回城下町おだわらツーデーマーチの開催結果についての報告を終わります。

#### (質 疑)

萩原委員…車椅子の方は、どのコースのどのあたりを歩かれたのでしょうか。

スポーツ課長…19日(1日目)の1番短い「ファミリーコース(6km)」に多くご参加いただきました。比較的高低差がない歩きやすいコースとなっております。障がいを持った方にもぜひ参加していただきたく、推奨しているコースです。こちらのコースに車椅子の方は3人ご参加いただきました。

萩原委員…6km歩かれたのですか。

スポーツ課長…全てではなく、ところどころ独自のルートを考えて歩かれたと聞いておりますが、ゴールは他の参加者と同じ小田原城址公園銅門広場に戻ってこられました。スタート地点も同じ場所からスタートしておりますので、スタート・ゴール地点での、スタッフや他の参加者とのふれあいが非常にうれしかったという声をいただいております。

萩原委員…今後、障がいを持った方でも参加しやすいコースができると良いと思います。

スポーツ課長…コースについては、参加された障がいをお持ちの方、あるいは関係者の方の声を聞きながら考えていきたいと考えております。また、障がいをお持ちの方だけが歩くコースということではなく、障がいをお持ちの方もお持ちでない方も一緒になって歩けるコースを考えていきたいと思っております。

吉田委員…小田原短期大学の学生も障がい者団体である「ありんこホーム」さんのボランティアとして参加させていただきました。とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございます。加藤市長からも、感謝状をいただき、本日が表彰式でした。とても嬉しそうに、「ボランティアとして参加してよかった」と申しております。良い機会を与えていただいたことにお礼申し上げます。

栢沼教育長…都道府県別参加者のうち、神奈川県が4,760人とありますが、そのうち小田原市民は何人参加されたのでしょうか。

スポーツ課長…資料1の5「参加申込者数（登録者数）」の上から4番目に「住所地別」とあります。「小田原市内」の2,080人が本市市民の参加者数になります。

栢沼教育長…他県からの参加も非常に良いことですが、それ以上に市民が地元のイベントにいかに多く参加するのか、その体制を整えていくことが1つの課題と感じております。今回多くご参加いただいた障がいをお持ちの方、あるいは企業や小中学生を含め、市内の盛り上がりを膨らませていただきたいと思っております。

森本委員…都道府県別参加者の中で特定の県、たとえば埼玉県、千葉県、静岡県の方の参加が多いですが、市から特別にPRされているのでしょうか。

スポーツ課長…特に調べておりませんが、比較的近隣の県で参加しやすいことが理由の1つだと考えます。また、城下町おだわらツーデーマーチは「日本マーチングリーグ」に登録しております。日本マーチングリーグは、国内のウォーキング大会の中でも大きな大会に登録するもので、18の大会が登録されております。ツーデーマーチは、このマーチングリーグが主催する「日本ウォーキング協会」を通じて参加募集を投げかけているため、各都道府県への参加の周知が行えたのではないかと推測しております。

和田委員長…萩原委員から車椅子の方のコースについて、また、教育長からは市民への参加の促しについて意見がありましたが、実際開催したことにより、次年度につなげていくための改善のヒントになるような出来事やご意見はあったのでしょうか。せっかく開催しているので、次年度に向けて、目玉になる改善点が1つでも見つかると、次に期待が持てると考えますが、いかがでしょうか。

スポーツ課長…大会の実施にあたっては、参加者やスタッフからアンケートをとっており、改善点等についてのお声は拾い上げをしております。その中でコースについては、「もう少し長いコースがほしい」という方もいれば、逆に「もう少し短い平坦な歩きやすいコースがほしい」など、様々なご意見をいただいております。

希望や改善点について、特に意見が集中することではなく、広くご意見をいただいている状況ですが、その中で、どこに目を向けていく必要があるのかは、今後考えていかなければいけないと考えております。いかに魅力のある大会にしていくのかについては、小田原の歴史や文化、建物の魅力をうまく訴えて参加者を募っていきたいと考えております。今年度も小田原城がリニューアルオープンしたことにちなみ、ゴール地点では、歴史の教養講座を実施した経緯がございます。終了後には、「来年も似たような講座ができないか」と提案をいただきました。たとえば北原白秋が小田原に移り住んで、2018年に100年となりますので、小田原の歴史等に絡めた講座を設け、ツーデーマーチとリンクさせ、小田原の魅力、ツーデーマーチの魅力を伝えることで大会を盛り上げてみてはいかがかとの提案でしたので、今後考えていきたいと思っております。

文化部長…大会当日については、スポーツ課長が説明したとおりでありますが、来年度以降に向けて、1つは萩原委員や吉田委員からもありましたが、障がいのあるなしに関わらず、参加しやすい大会にするために、実行委員会も障がいのある方々や、団体の方々に参加していただきたいと考えております。もう1つは、これは実行委員会の中でも出ていたのですが、企業の厚生事業、いわゆる職員・社員の健康づくりといった面で、ツーデーマーチに参加していただけるよう呼びかけをしていきたいと考えております。

和田委員長…昨年、駐車場について萩原委員から意見があったかと思いますが、今年はいかがでしたでしょうか。

萩原委員…今年は銅門におりましたので、外の様子が分かりませんでした。駐車場についてのクレームはありませんでしたか。やはり駐車場を増やすことは難しいでしょうか。

スポーツ課長…ツーデーマーチ参加者の駐車場でしょうか。

萩原委員…参加をしていない方の駐車場です。

和田委員長…同時開催の農業まつりなどの配慮ができないかという話でした。

萩原委員…遠くに車を停めて、バスなどで銅門に来たらどうかという提案をしたと思っております。

スポーツ課長…今年度の大会につきましては、新たな配慮は実施しませんでした。交通の混乱についての声は聞いておりません。

萩原委員…ウォーカーの方たちが赤信号になっても、大勢で横断歩道を渡っていることは「注意を受けるので気をつけてください」とスタート時にしきりにアナウンスされていたので、今回も同様のクレームがあるのかと思ったのですが、なかったのですね。

和田委員長…せっかくの大きなイベントなので、事故の起こらないことを祈っております。皆さんからいただいた意見を参考に、次年度も盛り上がりを見せてください。

(その他質疑・意見等なし)

和田委員長…以上で、スポーツ課が関連する議題が終了いたしましたので、関係の職員は、ご退席ください。

(スポーツ課 退席)

(6) その他 市民ホール（旧芸術文化創造センター）の整備方針について

(文化部)

文化部副部長…それでは私から、市民会館に変わります新たな施設、市民ホール（旧名：芸術文化創造センター）の整備方針について説明をさせていただきます。

この事業は市民の皆様のご関心も高い事業でございますので情報提供ということでお聞きいただければと思います。お手元の「市民ホール

（旧芸術文化創造センター）の整備方針について」をご覧ください。

小田原市民会館の老朽化の現状というものは、皆様よくご存知のとおりでございます。これまで、この市民会館に代わる新たな施設建設に向けて準備を進めてきたわけですが、昨年7月に行いました建設工事の入札が不調になったことを受け、この度、新たな整備方針を定めたところでございます。

はじめに、「1 新しい施設の呼称」についてでございますが、新しい施設は、現市民会館の機能を核に組み立てることといたしましたので、これまで「芸術文化創造センター」という呼称でおりましたものを、今後は「市民ホール」と呼ぶことといたします。

次に、「2. 建設費」につきましては、本市の厳しい財政の状況を踏まえ、63億円程度といたします。これまでは約73億円を予定しておりましたので、それよりも10億円程度減額するものでございます。

次に、「3. 整備内容」についてですが、新しい施設は、大ホールと小ホールは必置とし、大ホールの客席数は、現市民会館大ホールの客席数の1,098席を考慮して、1,000席以上といたします。小ホールは、ホールとしての機能のみでなく、展示系や創造系の機能を付加するために、段床式の可動席、いわゆる「ロールバック」といたします。

諸室につきましては、展示系及び創造系・支援系機能を有するものでございまして、計画地に建設費内で可能な諸室を整備することといたします。一部機能については民間の再開発事業、具体的には、小田原駅東口お城通り地区での再開発事業の中で規模や配置等、整備の可能性を検討・調整するものでございます。

次に、「4. 整備手法」につきましては、従来のように設計と施工を分離して発注するのではなく、事業提案（設計・施工一括発注方式）、いわゆるデザイン・ビルドの手法で整備することといたします。

次に、「5. 建設用地の考え方」につきましては、計画地が小田原城を間近に臨む、三の丸地区にあることを考慮しまして、お堀端通り（市道0003）沿いに可能な限り空地を確保することといたします。

今、計画地に隣接いたしております、横浜地方検察庁小田原支部でも再整備の計画があるようでございますので、現在、小田原法務合同庁舎敷地の一部と市民ホール建設予定地の一部の交換について協議しているところでございます。

仮に用地交換ができた場合、この空地につきましては、良好な景観を保ちつつ、今後、現市民会館用地も含めた将来の三の丸地区全体の整備を視野に入れながら、小田原城と一体となった新たな観光交流空間としての活用方策を、地元経済界の皆様にも加わっていただき、検討してまいりたいと考えております。

続きまして裏面をご覧いただきたいと存じます。「6. 今後の取り組み」についてでございます。「(1) 実施設計に至るこれまでの作業の成果の反映」でございますが、実施設計に至るまでに、市民の皆様から様々なご意見を頂戴しましたので、こうしたご意見につきましては、施設の整備の条件となります要求水準書の作成において、可能な限り反映させることといたします。

次に、「(2) 要求水準書の作成」についてでございます。良いホールを整備するためには、要求水準書が非常に重要になります。そこで、

良質なホールを整備することを大前提とした要求水準書を作成してまいります。

また、これからの作業に当たっては、専門家や専門業者に支援をお願いし、良質なホールを整備することを担保してまいります。

最後に、「(3) 事業者の選定」についてでございますが、市民ホールの整備に当たって最も適切な事業者選定方式を、国土交通省のモデル事業を活用いたしまして、年度内に確定いたします。

また、資料にはございませんが、整備スケジュールにつきましては、平成31年度までの建設工事着手を予定しております。

説明は以上でございますが、この度決定いたしました整備方針は、本市の厳しい財政事情や、老朽化が著しい市民会館の現状を踏まえてまとめたものでございますので、教育委員の皆様におかれましても、本事業の推進につきまして、引き続きご支援、ご協力をいただければ幸いです。

以上でございます。

#### (質 疑)

萩原委員…10億円も建設費が下がったことで設備内容が縮小されるということが、市民の方も気がかりなのではないかと思えます。大ホールにしても、これから造るものはユニバーサルデザインを重視する等の方針は、要求水準書に組み込まれていく方向なのでしょうか。

文化部副部長…ユニバーサルデザインについても、これまでの実施設計に至るまでの過程で多くの市民の皆様からご指摘をいただいております。これから要求水準書を作成する過程でユニバーサルデザインの視点もきちんと踏まえた形で策定してまいりたいと考えております。

整備内容も事業費が圧縮された関係で当然どうしても整備しきれない部分が出てまいります。現計画地で整備しきれない機能については、たとえばお城通りの再開発事業の中ですでにコンベンション機能もきちんと造っていくというような計画になっておりまして、当然その中では展示系の機能も付加される形になりますので、そういった街中の整備を一部代替することによって全体としては、今まで我々が造ろうと思っていた機能をできる限り整備していきたいと考えております。

(その他質疑・意見等なし)

## 7 委員長閉会宣言

平成29年1月26日

委員長

署名委員（萩原委員）

署名委員（森本委員）